

さよならをするために

本調子

1/2

六七^{#工}六五五

○五六五工尺尺

○老四上尺中○五尺

^{#工}六五○

すぎ

たひのほへ

みを

みんなきみにあ

げる

○乙^{#合}乙老乙四中中

○尺上

○

○上中尺老王○上尺

○中中

○

ゆうべかれてたは

なが

いまは

さいているよ

○四上中乙尺尺四中

○上上

○老上老○

○老四老上老○

○

○

すぎたひのかなし

みも

みんなきみにあ

げる

○乙^{#合}乙老乙四中中

○尺上

○

○上中尺老王○上尺

○中中

○

あのひしらないひ

とが

いまは

そばにねむる

あ

○四上中乙尺尺四中

○上上

○老上老○

○老四上四乙○

○

○中

たたかな

ひるさがり

とおりすぎる

あめに

ぬ

尺王五五○

○王尺中尺尺○

○尺工五六六○

○五^{#工}尺^{#工}

○

○中

れることを

ゆめにみるよ

かぜに

ふかれて

む

六七六五五

○中六七六五五

○五六七八

○

○八七八六

○

○六

ねにのこる

おもいでと

さよならを

する

ために

七^{#工}六五五

○五^{#工}六五五工尺尺

○老四上尺中○五尺

^{#工}六五○

○中

六七六五五

○中六七六五五

○五六七八

○

○八七八六

^{#工}五

五

さよならをするために

本調子

2/2

一、過ぎた日の微笑みを みんな君にあげる
うべ枯れてた花が 今は咲いてい
るよ
過ぎた日の悲しみも みんな君にあ
げる
あの日知らない人が 今はそばに眠
る
温かな昼下がりに 通りすぎる雨に
濡れることを 夢に見るよ
風に吹かれて 胸に残る想い出と
さよならをするために

二、昇る朝陽のように 今は君と歩く
白い扉をしめて やさしい夜を招き
今のあなたにきつと 判るはずはな
いの
風に残した過去の さめた愛の言葉
温かな昼下がりに 通りすぎる雨に
濡れることを 夢に見るよ
風に吹かれて 胸に残る想い出と
さよならをするために